



# 金井中だより

〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地  
Tel 63-4107 <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

〈本号の内容〉

- 1面 巻頭言
- 2・3面 ふれ愛発表会
- 4面 しおり作り  
プロジェクト他

## ONE TEAM への ビクトリーロード

校長 香遠 正浩

金井地区公民館が主催する恒例の「風ぐるまスーパー駅伝大会」に、今年は生徒だけでなく職員も2チーム参加する予定でした。ところが、あいにくの台風接近により中止となってしまい、生徒や職員から悔やまれる声が聞こえました。

そこで、翌週、授業等に支障のない放課後に希望者で「校内風ぐるま駅伝」を実施することにしました。当日は任意参加にもかかわらず、職員チームを含む19チーム84名が集まりました。皆とても楽しそうでした。チームの一員として1本のたすきをつないでいく連帯感を味わっていたのでしょう。

ラグビーのワールドカップで日本代表は準々決勝で敗れたものの、史上初のベスト8進出という歴史的な快挙を成し遂げました。選手たちが強く結束し「ONE TEAM」で戦う姿は、私たちに感動を与えてくれました。

報道によれば、3年前に就任したジョセフヘッドコーチが掲げた「ONE TEAM」は一朝一夕で完成したものではなく、合宿や遠征を共に過ごす中、あつれきを乗り越えて理解を深めてきたとのこと。世界レベルのスピードを見せつけたウイングの福岡堅樹選手は「本当にきつい合宿を何度も乗り越えて『ONE TEAM』を作り上げ、お互いのことを信頼し合って戦えるチームができた。」と述べています。こうして、ヘッドコーチが「形としては見えない結束力が一番の強み」と誇る集団になりました。

また、指揮官には「グラウンドにコーチはいない。決めるのは選手である。」「やらされているラグビーでは上には行けない。」という考え方が根底にあり、練習の意図を多くは説明せず、メンバーに考えさせたそうです。自由を与えられた選手は当初戸惑ったものの、それにより自主性とリーダーシップが養われたと報じられています。

金井中学校でも「ONE TEAM」を目指した教育活動を大切にしています。先日の「ふれ愛発表会」合唱コンクールに向けても、教師からの一方的な指導ではなく、「皆がクラスの一員」「全員が自分の役割を果たす」という意識を醸成し、生徒が主体となって練習を進めてきました。その過程ではどの学級でも少なからずドラマがありました。そのたびに皆で考えさせ、話し合っただけで課題を乗り越え、徐々に結束が強くなりました。こうして「ONE TEAM」となったその成果を当日発揮してくれました。全員の心を一つにして会場に響き渡った演奏は、聴く者の胸を熱くさせました。

ビクトリーロードを歩んでいる金井中生徒を誇りに思います。



## ふれ愛発表会を終えて

生徒会担当 伊藤 成彦

体育祭のスローガンは「本気×団結＝笑顔」、ふれ愛発表会のスローガンは「Just Smile」笑顔が大好きな生徒会本部です。本部生徒の話し合いでは、いつも笑いが絶えません。様々なアイデアが出てきて「いいじゃん！」という言葉がよく聞こえてきます。

今年の生徒会企画は全校参加のクイズイベント「君たちはどう答えるか」に決まりました。決定に至るまでも、一部の生徒のパフォーマンスか・・・、全体での企画か・・・。悩みながら、どうしたら全校が楽しめるか、一体感を味わえるか考え企画をしました。

当日は、回答している生徒も、見ている生徒も職員も保護者の方々にも笑顔が見られるとても盛り上がった企画になりました。合唱だけでなく、この企画を通してクラスの絆が深まったのではないのでしょうか。

何事にも一生懸命取り組む金井中生徒、生徒のために出演してくれた先生方、温かく見守ってくださった保護者や地域のみなさまのおかげで今年の生徒会企画を無事行えたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 不安と緊張を乗り越えて

ふれ愛発表会実行委員長

今年のふれ愛発表会も多くの方々に支えられ、無事終了することができました。ご来校くださった皆様、本当にありがとうございました。

ふれ愛発表会が大成功という形で終わったのは、本当にたくさんの方々の協力があったからだと改めて実感しています。

合唱コンクールも生徒会企画も、学級の心が一つになり、笑顔であふれていました。各自不安と緊張もあったと思います。それを乗り越えて、あの広い体育館に美しい歌声が響いた瞬間、佐渡一の合唱コンクールになったと思いました。生徒会企画も、生徒だけでなく、保護者、地域の方々なども楽しんでくれて本当にうれしかったです。皆様、ご協力ありがとうございました。



# 合唱の金井

音楽主任 池田 智真

ふれ愛発表会の午前、恒例の校内合唱コンクールが行われました。

課題曲は「金井中学校 校歌」。卒業生、在校生合わせて約 6000 名が歌い継いでいる校歌です。1 番、2 番、3 番の歌詞は、それぞれ、1 年生、2 年生、3 年生に求める姿や生き方が込められています。斉唱で歌いましたが、強弱の工夫、発音や息のコントロールを重視して仕上げました。

自由曲では楽曲の構成や詩の意味を解釈し、強弱の設定や速度など、音楽表現にこだわった合唱が体育館に響き渡りました。さらに全校発表では、吹奏楽の伴奏で校歌を歌い上げました。

ピアノ伴奏の生徒は夏休み前から、朝や昼休みにも自主練習をしていました。実行委員を中心に、音楽表現を学級で考える様子も見られました。音楽を楽しみ「合唱の金井」がさらに進化を続けることを期待しています。

## <審査結果>

- |      |      |              |
|------|------|--------------|
| 最優秀賞 | 3年B組 | 自由曲「結 -ゆい-」  |
| 優秀賞  | 3年A組 | 自由曲「手紙」      |
| 優良賞  | 2年A組 | 自由曲「マイ バラード」 |



## 合唱コンクールを終えて

合唱コンクール実行委員長

僕はこれまでで2回目の実行委員を務めました。さらに、今年は実行委員長も務めました。本番まではうまくいくのかが心配で緊張していましたが、各学年の実行委員がスムーズに進行や準備をしてくれたことで、問題なく本番を迎えることができたと思います。本番では、どのクラスもとてもいい響きで、まとまりのある合唱でした。無事に終えられたのは、実行委員と全校の皆さんのおかげです。金井中の素晴らしい団結力を、今後の活動でも発揮していきましょう。

## ふれあい発表会スナップショット





# いじめ見逃しゼロ 「しおり作りプロジェクト」

犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すボランティア団体である佐渡地区更生保護女性会から、「中学生にしおりを作ってもらい配布することで、明るい社会づくりの啓発をしたい」という依頼がありました。

当校はこの活動に賛同し、「いじめ見逃しゼロ強調月間」の中核として全校生徒で取り組むことにしました。生徒は「いじめのない明るく楽しい学校生活を築こう」等の願いを含め、一人一人がイラストと短い言葉で表現しました。



その後、女性会の皆様から一つ一つ丁寧に仕上げてください、素敵なしおりが完成しました。

10月19日は当校の文化祭でしたが、その合間を縫い、全校生徒を代表してボランティア委員8名がJA金井支所収穫祭会場へ出かけ、配布活動の手伝いをさせていただきました。ボランティア委員は、来場者一人一人に笑顔で声を掛け、しおりを配っていました。



# さわやかに力走 校内マラソン大会・金井中☆スーパー駅伝



10月3日。校内マラソン大会が実施されました。昨年度からの秋開催。この活動をとおして培った粘り強さを、今後の生活に生かしてほしいです。ボランティア・応援の保護者の皆様、ありがとうございました。

10月15日。台風のために中止になった「風ぐるまスーパー駅伝」の代わりに、「金井中☆スーパー駅伝」が実施されました。マラソン大会とはまた違う、たすきをつなぐ絆が感じられる活動となりました。